

第3回通常総会議事録

1. 日時および場所

平成20年5月31日（土）17時30分～18時00分
東京大学 鉄門記念講堂（東京都文京区本郷 7-3-1）

2. 正会員

1,753名

3. 出席者数

497名（うち委任状出席者 371名）

4. 審議事項及び議決事項

- (1) 議長選出（竹村）
- (2) 代表理事挨拶（代表理事）
- (3) 会員数報告（代表理事）
- (4) 平成19年度事業・決算報告（代表理事）
- (5) 同年度監査報告（監事）
- (6) 常設委員会・部会・ワーキンググループ報告
- (7) 平成20年度事業・予算について
- (8) 3学会合併について
- (9) 第24回（2009年）学術集会について
- (10) 第23回（2008年）学術集会について

(1) 議長選出

議長の選任について諮ったところ、ファミリークリニックなごみの大島民旗氏より立候補があり、承認された。

(2) 代表理事挨拶

山田代表理事より、選挙による役員選挙結果について報告があった。また、本日開催された新役員会にて、新代表理事・新副代表理事ともに再任され、監事は亀谷（現）理事、山本（現）理事に決定した旨が述べられた。定款で定められている代表理事が5名の指名理事を選出する件については、理事会の意見を踏まえたうえで指名することを前提として代表理事に一任いただきたい旨が述べられ、満場異議なく承認可決された。

(3) 会員数報告

山田代表理事より、3月31日時点の会員数について報告があった。会員数が1700名を超えたこと、会費滞納者には督促を行ったうえで会費納入がない場合は退会としているが復

帰可能な旨が報告された。

(4) 平成 19 年度事業・決算報告

山田代表理事より、当法人の昨年度の事業報告および収支決算書について報告があった。その中で昨年度は、会員増や学術集会で赤字が出なかったことによる収入の増加があったこと、支出面では 3 学会の合同会議にかかる費用や Scene 発行や選挙関連にかかる印刷費が大きな支出となったことが述べられ、平成 19 年度末の正味財産は約 729 万円となったことが報告された。

(5) 同年度監査報告

藤崎監事より、会計監査の結果について、適正に事務処理が行われていることが述べられた。学会の財政については、昨年に続き赤字が続いているので、若干不安な状態が続くのではないかとの見解が述べられた。

平成 19 年度事業・決算報告について、議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

(6) 常設委員会・部会・ワーキンググループ報告

各委員長または担当者により昨年度活動報告および今年度活動計画について説明があった。

(7) 平成 20 年度事業・予算について

山田代表理事より、平成 20 年度の事業計画および予算について説明があった。収入では正会員の会費収入が 8000 円から 1 万円に上がったこと、支出では昨年度と大きく異なる項目について説明がなされ、当期収支差額は約 335 万円の赤字計上となる見込みであることが述べられた。赤字額に関してはしっかり運営努力をしてほしいとの理事会意見が出されたことから、事業運営については出来る限り効率よく行うよう努力するとの意志が述べられた。

平成 20 年度事業・予算について、議場に承認を求めたところ、満場異議なく承認可決した。

(8) 3 学会合併について

山田代表理事より、3 学会合併に関する進捗状況について説明があった。

会場より、学生や若手医師の活動は合併後にどのように扱われるかを周知してほしいとの要望が出された。また、先般行われた 3 学会合併に関するアンケートが無記名回答とのことだったが、返信がファックスであったため無記名にはなっていなかったため、もう少し慎重にやっていただきたいとの意見が述べられた。

山田代表理事より、まずアンケートの件についてお詫びが述べられた。
学生・研修医部会や若手家庭医部会の活動については、他の学会にはない日本家庭医療学会の特色であると認識しており、3学会合併後もその活動が継続し、さらに発展するように後押しをしていきたいとの意向が述べられた。

(9) 第24回(2009年)学術集会について

第24回学術集会の大会長である雨森氏より、次期学術集会について、平成21年5月30～31日に3学会合同で京都国立国際会館にて開催される予定であることが述べられた。

(10) 第23回(2008年)学術集会について

第23回学術集会の大会長である葛西氏より、今回の学術集会の状況報告がなされた。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。